

# コロナ禍 命・くらしを守る市政を前に

## 2021年度予算

## 18歳までの医療費無償化 介護保険料すえおき

「誰もが安心して暮らし続けられるまちへ 命を守り次世代へつなぐ予算」と位置づけた、2021年度の予算が計上されました。松下玲子市長が市長選挙の公約で掲げた18歳までの医療費無償化や、介護保険料のすえおき、都市計画税の減税など、コロナ禍で苦しむ市民のくらしを応援する内容です。日本共産党市議団は、介護保険料のすえおき、子ども医療費無償化の対象拡大など求めてきました。

### 18歳までの医療費無償化

第4回定例議会でも、「18歳までの子ども医療費無償化」の条例が可決しました。これにより、今まで中学生までが対象だった医療費の無償化が18歳の年度末までとなりました。2021年度は入院費を対象とし、2022年度からは通院(外来)も無償となります。所得制限もありません。コロナ禍で子育て世帯の負担も増える中、子どもの保健の向上と子育て世帯の経済負担の軽減につながります。

### 介護保険料すえおき

2021年度は、3年に1度の介護保険料改定の年です。党市議団は、介護給付費等準備基金の活用などで、介護保険料の値上げを抑える提案を毎回行ってきました。今回、武蔵野市は介護給付費等準備基金を活用し、介護保険料の値上げをせず、すえおくことを決めました。

### 都市計画税減税で テナント賃料の値下げへ

自粛要請などにより収入が減少する市民と事業者のくらしや市内の経済を守るため、2021年度の都市計画税を税率0.1% (現在の税率は0.2%) に減税します。地代・家賃など賃借料の基準額の一部とされる都市計画税の減税で地主・ビルオーナー・テナントの連携を促し、地域経済の維持を図ることを目的としています。

### 市長「市内に保健所を 東京都に要望」

### 共産党代表質問に答弁

統廃合された保健所の復活を求める共産党市議団の代表質問に、松下市長は



「現武蔵野三鷹センター(写真)は、かつて保健所でありました。感染症の対応も行う保健所でありましたので、このセンターをセンターではなく保健所として戻していただくこと、場所があるわけですから、またそこに人員も配置されて(中略)つまり武蔵野市と三鷹市を管轄する保健所として復活していただきたいと(東京都に)要望している」と答えました。

武蔵野市内に保健所の復活を求める市民の声に応える市長の答弁でした。

### 史上初めて核兵器を違法化

## 核兵器禁止条約

### 市長が政府に批准を求める

松下市長は今年1月に発効した、核兵器禁止条約を歓迎し、「日本政府は唯一の戦争被爆国として、一刻も早く核兵器禁止条約を批准してほしい」と施政方針演説で発言しました。

## PCR検査の拡充 くらし支援に全力



日本共産党  
市議会議員  
橋本しげき

一般質問で、公共駐輪場利用者の負担軽減を求めました。

☎0422-36-3110  
hsmt.sgk@gmail.com



日本共産党  
市議会議員  
本間まさよ

代表質問で、PCR検査の拡充(社会的検査)を求めました。

☎0422-32-6002  
m.honma-jcp@ksn.biglobe.ne.jp

# 2021年度 武蔵野市予算の主な内容

2021年度の一般会計は、新型コロナウイルス感染症の影響で、市民税の減収が見込まれますが、ワクチン接種などの費用もあり695億3900万円と前年度に比べ2・8%の増額予算となりました。新規予算の主な内容を紹介します。

## ●安心して暮らし続けられるために

- 福祉総合相談窓口(仮称)の開設  
ひきこもり相談も含めた、さまざまな相談に対応する窓口を市役所内に開設します。
- 在宅人工呼吸器使用者等への災害時個別支援計画の作成
- 特別養護老人ホームの多床室等整備補助金  
特養ホームのユニット型個室の利用料が払えない市民からの「年金でも入れる特養を」の声に応え、多床室等を整備する事業者に施設整備支援。党市議団は特養ホームの負担軽減を一貫して要求してきました。
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業  
南町コミセン、総合体育館、市民会館の集団接種3会場に加え、5病院(吉祥寺南・森本・武蔵野陽和会・小森・武蔵境)で個別接種も可能に。今後さらに体制を整えていきます。

## ●子どもたちが健やかに暮らせるまち

- 子どもの権利条例(仮称)の検討  
未来にわたって子どもの尊厳と権利が尊重されるよう、子どもの権利条例(仮称)制定を目指し、外部有識者等による検討委員会を設置します。
- 子ども・コミュニティ食堂  
運営支援
- 公立保育士の採用
- 学習者用コンピュータ活用  
市立小中学校の児童生徒に1人1台、学習者用コンピュータを整備。今後3年間で活用の指針を定めます。

## ●ジェンダー平等 平和な社会に

- パートナースhip制度の検討  
性別を問わず、人生のパートナーとした2人を市が承認する制度で、公営住宅への入居時や病院で家族として対応してもらえ効力があります。
- コミュニティ構想50周年記念事業
- 外国籍市民意識調査と窓口業務での通訳・翻訳サービスの試行導入

## ●市民のくらしをさせさえる取組み

- 「くらし地域応援券」などの効果検証  
2020年度に実施した「くらし地域応援券」や「エール!むさしの(地域飲食店応援クラウドファンディング)」の効果を検証し、今後の産業振興策に活用。
- フードバンク活動団体支援事業
- 武蔵境駅前公衆トイレ移設準備  
市民の陳情採択後、市内公衆トイレ4カ所中3カ所のトイレが洋式化及びバリアフリー化されました。今年度、移設の課題があった武蔵境駅前の公衆トイレの陳情採択後、市内公衆トイレ4カ所中3カ所のトイレが洋式化及びバリアフリー化されました。今年度、移設の課題があった武蔵境駅前の公衆トイレ
- 大型街路灯LED化推進事業
- 住民投票条例(仮称)の制定に向けた検討  
市民自治のさらなる推進を目的に、常設型の住民投票条例(仮称)制定に向け検討を行います。
- 吉祥寺ウエストエリアの交通環境改善調査  
設計費が計上されました。

## 市民の声を都政・国政へ

### 日本共産党市議団の要請活動

#### “市内に保健所を”



保健所要望書提出(左が橋本市議)=2020年9月15日、都議会

感染拡大防止の対策強化のため、党市議団は東京都に対し「保健所の復活を求める要望署名」を提出しました。署名をされた市民の声を受け、松本市長も東京都に対し「保健所の復活」を求めました。(1面で紹介)

#### “外環陥没事故の徹底究明を”



「外環道陥没事故究明」の要望書提出(左から2番目が本間市議)=2021年2月10日、都議会

昨年10月に起きた調布市の市道陥没事故の原因は、外環道の工事によるものです。外環道の工事は、調布市、三鷹市、武蔵野市吉祥寺南町、東町へと続く計画になっています。党市議団は、第三者による陥没事故の調査などを求め国・事業者・東京都に要望書を提出しました。